

中国 合肥グローバルディスプレイトレンド発表会 参加報告

日程：7月7日(火)～9日(木)

出張先：中国合肥市 Sheraton 合肥

出張者：渡部専務理事、佐藤副事務局長

用 件：2026合肥グローバルディスプレイトレンド発表会
基調講演

招待者：20人 参加者：約200人

概要：

1. 7月7日(火) 中国上海移動 羽田→上海虹橋 (気温35度)
老上海見学

2. 7月8日(水) 午前中、上海→合肥 移動 (新幹線 2.5H)
午後：2026合肥グローバルディスプレイトレンド発表会

発表会 Agenda 司会：徐征 (北京交通大学教授)

講演① 胡春明 常務副秘書長 (CODA)
「マイクロ LED ブレークスルー」
スマートグラスへの応用開発が進んできた。
課題は重量 (30 g 以下) とコスト



講演② 李相晋 常務理事 (KDIA)
「AI の液晶産業での挑戦」
ディスプレイから五感をいかに取り込むか。
最先端をリードする三星・LG



講演③ 渡部潔 専務理事 (SEAJ)
「FPD 製造装置市場動向」
7/2記者発表の FPD 関係 data 説明



講演④ 張分大 高級総監 (SEMI China)
「AI 時代の世界半導体産業状況」
半導体 Player の変遷・WSTS data 説明



- 講演⑤ 耿怡 首席研究員（CCID）
「OLED における AI 駆動」
OLED 売上 data（面積ベースで右肩上がり）



- 講演⑥ 鲁瑾 副秘書長（中国電子材料行業協會）
「新液晶材料展望」
OLED 材料の国産化率、各材料で30%以上実現してきた。

- 講演⑦ 博蓉蓉 副主任（中国信息通信研究院）
「AI スマートグラス研究と現状」
スマートグラス参入企業の増加・売上増・軽量化・マイクロ LED



感想：

- ・半導体メモリの品不足により PC・スマートフォン・TV の生産が伸びず増えていないと思われていたが、中国においては YMTC・CXMT などの生産増強によりカバーされてきている。
- ・OLED 生産における材料についても、ガラス基板、各色インクなど主要材料の国産化が進んできており、主

要なものでシェア30%を超えて来た。

- ・中国はスマートグラスなど商品化に取り組んでおり、着々と開発が進んでいる。
- 課題の重量はマイクロ LED の採用、コストは量産化により克服してきている。
- 製造販売会社も10社程度に増えてきており、AI の普及とともに来年には軽く安価な普及版スマートグラスが出てくるものと思われる。
- ・講演会場外にはスマートグラスメーカー10社ほどが、実物を用意し来客が試用して使い勝手を確認していた。

3. 記念撮影（講演者＋会場参加者代表）



4. VIP Dinner



5. 7月9日(木) 日本移動

7:00 Sheraton Hotel 出発（タクシー）→合肥駅（新幹線）
→上海虹橋駅（地下鉄）→上海虹橋空港（飛行機）→羽田空港

（SEAJ 副事務局長 佐藤 富志夫）